

平成17年度のバランスシートと行政コスト計算書を作成しました

市では、民間企業などと同様、資産・負債の状況や行政コストを把握し、今後の財政運営に役立てていくため、総務省の作成基準に基づき、バランスシート(貸借対照表)と行政コスト計算書(損益計算書)を作成しています。これまで作成してきた普通会計に基づくバランスシートに加え、市全体の財政状況を明らかにするために、国民健康保険特別会計などの特別会計等を含めた17年度の市全体のバランスシートを作成しましたので、概要をお知らせします。

平成17年度の決算状況はすでにお知らせしていますが、市の財政状況は一段と厳しさを増し、今後も職員数や事務事業の見直しなど、一層の行政改革が必要となっています。

普通会計のバランスシート

バランスシートは、決算時点(3月末)で市が保有する土地や建物等、資産の状況と負債等の資金調達状況を一覧表にまとめたもので、借方にはこれまでに取得・築造した土地・建物や基金等、将来に残る財産[資産]を計上しています。また、貸方には地方債(借入金)の残高、市職員の退職給与引当金等、将来の世代の人たちが負担しなければならない額が[負債]として計上され、資産形成のために使った国都支出金の額、市税等の一般財源の額(今までの世代の人たちが負担した額)を[正味資産]として計上しています。

資産合計は、16年度と比較し、約7億8千3百万円減少しています。

内訳は、「有形固定資産」で減価償却の額が市民会館リニューアル事業や中福生公園拡張事業などによる増を上回り約2億8千5百万円減少し、「投資等」は、学校施設等整備基金の取崩し等により約4億3千6百万円減少、また「流動資産」では、歳計現金等の減少により約6千2百万円減少しています。

また、負債合計は約2億6千8百万円減少しています。内訳は、固定負債が市債残高約1億9千6百万円の減や退職給与引当金(現在の職員が17年度末で一斉に辞めた場合を仮定した退職金の額)約1億2千7百万円の減などにより約3億2千3百万円減少し、流動負債では、地方債残高のうちの翌年度償還分が約5千5百万円減少しています。正味資産合計は、国都支出金、一般財源等を合わせて約5億1千4百万円の減少です。

問合せ財政課財政係

福生市全体のバランスシート

市全体の資産合計は、平成16年度と比べ、減価償却による下水道事業会計の有形固定資産の減少、特定目的基金等の減などによる普通会計の投資等合計の減などにより、約16億8千9百万円の減少となっています。

また、負債合計は、国民健康保険事業会計の赤字による予算の翌年度繰上充用額や介護保険事業会計の市債額が増加していますが、普通会計、下水道事業会計の市債残高がともに減少し、全体では、約5億3千2百万円減少しています。

なお、資産形成に支出してきた正味資産合計は、普通会計及び下水道事業会計の施設の減価償却などにより、約11億5千7百万円の減となっています。

行政コスト計算書

行政コスト計算書は、人的サービスや給付サービスのような資産形成につながらないさまざまな行政サービスの提供に要したコストについて1年間の状況を明らかにしたもので、

平成17年度 行政コスト計算書

	合計	民生費	土木費	教育費	衛生費	その他	平成16年度	増減額
人にかかるコスト	4,040	656	323	1,056	197	1,808	4,311	△271
議員報酬、職員人件費など								
物にかかるコスト	5,158	507	1,211	1,459	1,050	931	5,267	△109
施設管理費、減価償却費など								
移転支的的なコスト	9,956	6,656	680	235	1,455	930	10,075	△119
高齢者や児童などの手当、一部事務組合への負担金など								
その他のコスト								
借入金(市債)返済金のうち利子分、市税の不納欠損など	353					353	428	△75
合計 A	19,507	7,819	2,214	2,750	2,702	4,022	20,081	△574

収入項目	合計	民生費	土木費	教育費	衛生費	その他	平成16年度	増減額
使用料、手数料等	918	308	35	57	335	183	1,040	△122
国都支出金	4,131	3,280	46	141	270	394	4,126	5
一般財源	13,134						12,908	226
収入 B	18,183						18,074	109

正味資産国都支出金償却額(C)	780	一般財源等増減額B+C-A	△544	780	0
バランスシートの有形固定資産の減価償却に伴い償却する国都支出金				△1,227	683

そのコストには、現金の支出だけでなく、建物等の減価償却費など、現金以外の支出も計上しています。

17年度の行政コストの総額は、16年度と比較して、約5億7千4百万円減少しています。主な増減では「人にかかるコスト」が人件費及び退職給与引当金繰入等で約2億7千1百万円の減、「物にかかるコスト」は物件費、維持補修費等施設管理費などの減により約1億9百万円の減、「移転支的的なコスト」では福生病院組合負担金等一部事務組合負担金などが増加していますが、下水道事業会計繰出金の減や福生駅エレベーター建設費補助及び高齢者借上住宅建設費補助の完了等に伴い、全体で約1億1千9百万円の減、「その他コスト」は市債利子の減、市税の不能欠損額の減などにより、約7千5百万円の減となっています。

また、「行政コスト」の総額に対する「収入項目」は、全体で約1億9百万円減少しています。主な増減では、「使用料・手数料等」が約1億2千2百万円の減、「一般財源」が約2億2千6百万円の減となっています。

子育て支援

振り込みのお知らせ

児童手当・児童育成手当を2月10日頃に振り込みます。

問合せ子育て支援課子育て支援係

平成19年度ひとり親家庭ホームヘルパーサービス事業者の登録受付

受付期間2月8日(木)～28日(水) 資格東京都指定訪問介護事

業登録者で市内に事業所があること。※申込書は、子育て支援課(市役所本庁舎1階)にあります。

①母子家庭の就労支援事業のお知らせ

対象者母子家庭の母で、20歳未満のお子さんを扶養し、かつそれぞれ要件を満たす方

母子家庭自立支援教育訓練給付金

訓練に関する講座を受講し、修了した場合に受講料の一部を支給します。

要件●児童扶養手当の支給を受けているか、児童扶養手当の支給要件と同等の所得水準の方●雇用保険の教育訓練給付の支給資格のない方

支給額修了した対象講座の受講料の40%(上限20万円、ただし8千円以下は給付対象外)を支給します。

母子家庭高等技能訓練促進費

母子家庭の母が就労に有利な資格を取得するため、養成機関で2年以上修業をする場合に、一定期間の訓練促進費を支給して母子家庭の経済的支援を行います。

要件●児童扶養手当の支給を受けているか、児童扶養手当の支給要件と同等の所得水準の方●修業年限が2年以上の養成機関において、既に一定の課程を修業し、資格の取得が見込まれる方●就業または育児と修業の両立が困難な状況であると認められる方

支給対象資格看護師・准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士・保健師・助産師・理容師・美容師、その

他市長が特に認める資格

②児童扶養手当受給者向け母子自立支援プログラム策定事業

ハローワークと連携して就業支援の事業を行っています。▽仕事をした経験が少なく、履歴書の書き方や面接のノウハウ

母子自立支援員(要電話予約)

平成17年度 福生市全体のバランスシート (平成18年3月31日現在)

	普通会計	公営事業会計					合計 A	平成16年度 B	差引 A-B
		下水道事業会計	駐車場整備事業会計	国民健康保険事業会計	老人保健医療事業会計	介護保険事業会計			
資産の部									
借方									
1.有形固定資産(学校や公園、道路など土地や建物)	80,558	11,898	183			92,639	93,965	△1,326	
2.投資等(基金、出資金など)	8,529			6	0	8,535	8,972	△437	
3.流動資産(財政調整基金、現金など)	2,616	103		598	37	3,421	3,347	74	
資産合計	91,703	12,001	183	604	37	104,595	106,284	△1,689	
負債の部									
貸方									
1.固定負債(市債や退職給与引当金など将来の負担額)	15,692	8,694			89	24,475	25,260	△785	
2.流動負債(翌年度繰上充用額、翌年度支払予定の市債償還額)	986	746		204	45	1,981	1,728	253	
負債合計	16,678	9,440	0	204	134	26,456	26,988	△532	
正味資産の部(資産形成のために使った国、都からの補助金や市税など一般財源)									
正味資産の合計	75,025	2,561	183	400	37	78,139	79,296	△1,157	
負債・正味資産の合計	91,703	12,001	183	604	37	104,595	106,284	△1,689	